

お前が産まれた年はね...

第9期OB 竹内 亮介

◆息子の誕生

7月に第一子の息子が誕生しました。育児の毎日はまさに激動の日々ではありますが、総じて楽しくやっております。彼の健やかな成長を祈りつつ、妻への感謝を忘れずに今後も過ごしてまいります。

これだけでも2023年は忘れられない年になりそうでしたが、以下の個人的なニュース3選も相まって、「お前が産まれた年はね、本当に良い年だったのよ」と将来息子に話せそうです。



寝返りはできるようになったが、
寝返り返りに苦戦中の息子

◆新しい環境

息子の誕生から遡ること3ヶ月、4月からは明治大学商学部へ移籍しました。着任当初、人間関係・担当授業・ルールや慣習などがこれまでとガラッと変わることにより多少の不安はありましたが、周囲の皆様本当に良くしていただき、今は充実した日々を過ごせております。

◆憧れのひととの「会食」

5月、とあるピザ屋さんで食事をしていたところ、なんと Mr. Children の桜井和寿さんが眼前に現れ、自分の真後ろへと着席しました。距離にして約50cm！そのまま桜井さんと背中合わせで2時間を過ごすという奇跡を体験しました（完全プライベートだったため、話しかけることもジロジロ見ることも控えました）。中学2年生の頃にミスチルに魂を揺さぶられ、色々な音楽を聴くようになった今もミスチルは一番の存在です。これまで何度もライブに足を運んできましたが、数万人規模の会場で米粒サイズの桜井さんを拝むのが常だっただけに、至近距離での「会食」中はピザを持つ手が震えました...

◆18年ぶりのアレ、38年ぶりのアレのアレ

2023年は、阪神タイガースが18年ぶりのリーグ優勝、さらには38年ぶりの日本シリーズ制覇を成し遂げました。私は小学3年生だった1999年に阪神ファンになったため、日本一の瞬間を目撃できたのは初めてのことでした。当時は「最下位が年間指定席」とも揶揄された暗黒時代でしたが、現在の阪神には有望で伸び盛りの選手が非常に多いため、遂に黄金時代が始まる予感も。いつか息子と甲子園球場のライトスタンドにて、六甲おろしを熱唱できればと企んでいます。